

向学館通信

2006・7・27

楽しい夏休み。体力も学力も情操も豊かに。学校の進度に追いついていない人、基礎をしっかりとやり直したいという人、まとまった勉強をしたい人は、夏休みが絶好のチャンス。やれば必ず結果はついできます。計画的に休みを有効に使ってください。だらだらすごすのは一番損です。

英語の勉強のへたな高校生！

高校生の英語の勉強で気になることを指摘しておきます。

いちばんへたな学習の仕方をする人は、塾へ来て、一生懸命、わからない単語を辞書で調べています。こういう人ほど、わからない単語が多いので、授業時間の大半を単語調べで費やしてしまいます。単語を調べるのは、授業以外の時間でやってほしい、さもないと、先生に教わることも出来ないし、肝心の日本語訳にほとんど時間がとれない、等々のことを言うのですが、全く効き目がありません。ひたすら、単語調べで、英文和訳などには手がまわらなくなっています。

そして、こういうタイプは、テスト前になると、日本語の訳文を「暗記して」テストに臨む、ということになります。これは、きわめて極端な例です。しかし、これに近いか、同質の人はかなりいます。これらの人たちは、要するに英語の勉強になっていないわけです。単語調べに時間をかけている割には、単語もあまり覚えられません。

もう一つの困ったタイプは、文法がほとんどわからない人たちです。

「文法がわからない」というのには、大別すると2種類のタイプがありそうです。一つは、文字通り「まったくわからない」人たちです。これは、たとえば、品詞（名詞、動詞、形容詞、副詞など）も理解していないし、文の主語・述語の関係もわかっていないというようなレベルです。高校で、英文法を授業で習っているはずですが、まったく頭に入っていない。このタイプは『国語』の文法の基礎からやらなければ、英語の文法はわかってくれないだろうと思います。日本語の文法を理解して来なかったために、英語文法がわからないわけです。しかしやるぞ、という人は、相談に乗りますので、遠慮なく言ってきてください。

英語の文法、勉強してるが、理解できていない・・・どうすればいいの？

この「文法無理解派」とはちがうのですが、「文法にが手派」ともいうべき人たちがいます。じつは、これが非常に多いのです。このグループの特徴は、・そこそこ文法の勉強もしている、・しかし、身につけていない、・文法はむずかしいものだと思っている、実際の英文和訳に文法が活かされていない、といった傾向をあわせ持っているようです。

さて、このグループに該当しそうな文法の知識を試すのに、たとえば「関係詞ってなに？」とか「不定詞って、知ってる？」とか「分子構文って何だった？」といった質問をしました。しかし、こうした質問には全く答えられないか、せいぜいひと言ふた言の言葉が返ってくる、といった状態でした。その言葉もたいていは不正確か誤っています。

こうした症状は何を意味しているのか、どこに問題があるのか。この疑問をずいぶん長く持ちつづけてきました。そして、いまの時点で言えそうなことは、つぎのことです。

- ①文法用語（日本語）を覚えていない。
- ②文法用語の意味や定義を正確に理解していない。
- ③上記①、②のために、関連させて理解すべきことが、関連づいていない。
- ④したがって、体系としての理解にはほど遠いということ。
- ⑤だが、知識の断片はいっぱいあり、細かい部分の知識はよく知っていたりする。

こういう人たちは、ずいぶん大きな損をしていると思います。つまり、勉強しているいろんなことを覚えていて（相互に関係づけずに個々ばらばらにおぼえていて）、その知識を取り出すときのインデックスに当たるものをくっつけて覚えていないので、引き出せないのです。もったいないことです。文法用語（ものの名前）がついていない知識は取り出しようがありません。インプットはいっぱいしたけれど、アウトプットができないのです。

夏休みに、勉強の仕方を根本から変えませんか。具体的に指導します。希望者は連絡ください。

◆8月22日（火）「漢検」のテストです。がんばって合格してください！